ギカンの存在カン

防衛省
地方防衛局
Regional Defense Bureau 技術系

防衛省 MINISTRY OF DEFENSE

大臣官房秘書課任用第３係

〒162-8801
東京都新宿区市谷本村町5-1
防衛省代表03-3268-3111（内線22158）
URL：https://www.mod.go.jp/j/saiyou/

2023年採用パンフレット
国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験、高卒者試験）技術区分

施設監からのメッセージ

Message

日本には、2,400を超える自衛隊や在日米軍の基地・駐屯地等があり、このなかには、飛行場や港湾施設、司令部、装備品の整備、補給など様々な機能を持つ施設群があり、有機的に結びついて、日本の防衛力を支える必要不可欠な基盤を構成します。

これら施設の建設を担うのは、防衛技官という官職の防衛省職員で、地方防衛局が建設工事の発注を行っています。防衛技官の役割は、わが国を取り巻く安全保障環境に応じて、防衛基盤を整備し続けていくことです。

防衛技官は、ユーザーである自衛隊等が求める多彩な機能を具現化すべく、建築・土木・電気・機械・情報通信など、裾野の広い建設分野の技術を結集し、建設事業の計画・設計・施工・検査といった、高い専門性を必要とする全てのプロセスにおいて、ベテランと若手が一体となりチームワークで取り組んでいます。

自分が携わった施設が完成した時、日本の安全保障を支える仕事の一つを成し遂げたという達成感と高揚感が得られ、改めて自分の仕事に対する使命感と誇りを感ずるものです。

技術の道を選び、学んで培った知識や経験を、大きなスケールで存分に生かしたい方、防衛技官という選択肢を考えてみて下さい。

大臣官房　施設監
杉山　真人 SUGIYAMA MASATO

防衛施設とは

「防衛施設」とは一言でまとめると、自衛隊員が使用する施設全般を指しています。基本的には事務仕事や訓練、教育、生活の場として機能しますが、大災害等が発生した場合には救援活動の後方支援に加え、一時的な周辺住民の避難、救援物資等の集積・輸送拠点等として自衛隊施設が利用されることもあります。

これら施設の計画・設計・建設はその特殊性からすべて防衛省が主体となって実施しており、主に設計や建設に携わることが出来るのが地方防衛局の技術系職員（防衛技官）になります。

主な施工例と工事種別

飛行場施設

燃料施設

通信施設

レーダー施設

航空灯火

港湾施設

火薬類貯蔵施設

病院施設

庁舎

格納庫

整備工場

洗機場

駐屯地新設

訓練施設（射場）

浴場

公務員宿舎

土木工事	飛行場施設、港湾施設、道路、トンネル、上下水道施設、燃料施設等
建築工事	庁舎、隊舎、整備場、格納庫、体育館、食堂、浴場、警衛所、学校等
機械工事	燃料施設、ボイラー施設、消音施設、建物の給排水・衛生・空調・昇降設備等
通信・電気工事	特別高圧受変電設備、各種レーダー施設、航空灯火設備、建物の電気設備等

地方防衛局の所在地・管轄区域

地方防衛局は、防衛省の地方支分部局として、全国の主要都市に所在しています。また、地方防衛局の下には防衛支局、防衛事務所などがあります。技術系職員も全国各地の地方防衛局で管轄地区内の防衛施設を整備しています。

中国四国防衛局

広島合同庁舎４号館（広島市）

管轄区域		
鳥取県	島根県	岡山県
広島県	山口県	徳島県
香川県	愛媛県	高知県

沖縄防衛局

嘉手納庁舎（嘉手納町）

●名護防衛事務所

管轄区域
沖縄県

北海道防衛局

札幌第３合同庁舎（札幌市）

●帯広防衛支局

管轄区域
北海道

東北防衛局

仙台第３合同庁舎（仙台市）

管轄区域			
青森県	岩手県	宮城県	秋田県
山形県	福島県		

九州防衛局

福岡第2合同庁舎（福岡市）

●熊本防衛支局

管轄区域		
福岡県	佐賀県	長崎県
熊本県	大分県	宮崎県
鹿児島県		

近畿中部防衛局

大阪合同庁舎第２号館（大阪市）

管轄区域		
富山県	石川県	福井県
滋賀県	京都府	大阪府
兵庫県	奈良県	和歌山県
愛知県	岐阜県	三重県

南関東防衛局

横浜第２合同庁舎（横浜市）

管轄区域		
神奈川県	山梨県	静岡県

北関東防衛局

さいたま新都心合同庁舎２号館（さいたま市）

管轄区域			
茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
千葉県	東京都	新潟県	長野県

調達計画課

調達計画課では、自衛隊や在日米軍施設等建設工事にかかる実施計画の立案・調整や予算管理、自治体等との調整業務を行っています。施設のユーザーである自衛隊等と調整を行いながら、施設の運用を考慮した工事期間の検討や発注計画の作成を行っています。

市川　伸靖 ICHIKAWA NOBUYASU

選考／通信
入省30年目

帯広防衛支局　建設計画官付　専門官

◆これまでの勤務で印象に残ったエピソード

工事を進める上で、普段は自衛隊基地内での調整が多いですが、国道及び市道等敷地外での工事調整を行ったことがあります。地方自治体はもとより、工事ルート上に所在する学校、商店、町内会等（約20箇所）への工事実施に係る説明を誠心誠意行った結果、無事に大きな問題も無く工事を完了出来たことが印象に残っています。

◆仕事で普段心掛けていること

計画業務においては、自衛隊や地方自治体等との調整も多く、場合によっては難航することもありますが、関係各所と綿密な調整を実施することにより問題の解決を行うようにしています。

また、関係各所と信頼関係を築けるよう、普段の調整においても誠心誠意対応するよう心掛けています。

九州防衛局　調達計画課　係員

◆これまでの勤務で印象に残ったエピソード

山間部や離島など狭隘（きょうあい）な駐屯地や基地にて電源ケーブルを埋設する際に、既存ケーブルと干渉する問題に対し、日々のメンテナンスや老朽したケーブルの取り換えを容易にできるよう技術的な提案を行い自衛隊等のユーザーのニーズに的確に応えることが出来たことです。また、在日米軍への提供施設を担当することがあり、米国基準は日本の基準や仕様と異なることが多くあったことや設計会議にて通訳を介しつつも英語での会議は自身の中でとても印象に残っています。

◆一番印象に残った防衛施設について

一般の方が経験することが少ない航空機格納庫の工事監督を行ったことです。基地の特性や航空機の点検整備を行う運用を考慮し、苦慮しながらも照明や動力盤の配置など現地部隊との綿密な調整を行い、完成及び引き渡しを終えた際に感謝されたことが印象に残っています。

江口　尚人 EGUCHI NAOTO

Ⅲ種／電気
入省11年目

事業監理課

事業監理課では、①地方防衛局で整備している防衛施設がユーザーから求められている性能ならびに品質を満たしているか確認、検査②隊舎など施設が完成した後、長期間運用を行っていくために図面などの情報管理③大規模建設プロジェクトの進捗管理などを行っています。

山田　京香 YAMADA KYOKA

一般職（大卒）／建築
入省9年目

沖縄防衛局　事業監理課　係長

◆これまでの勤務で印象に残ったエピソード

入省して一年目、初めて担当した海上自衛隊施設の建設工事が印象に残っています。自分は建築課という部署に配属され、建築工事の監督官として業務に従事していました。施設の設計から建築工事の完成まで一貫して携わっており、設計時には要求性能を満たす施設となるよう設計業者と共に頭を悩ませ、工事の監理時には見栄えや細部の納まりを追求し施工業者と相談する日々を過ごしました。当時は大変だと感じていましたが、その過程を経て完成した施設を見た時には達成感があり、この業務に携わることが出来てよかったと感じました。

◆仕事のやりがいについて

防衛省として印象に残るのはやはり自衛隊や在日米軍の活動だと思いますが、彼らが日々を過ごす駐屯地、基地等の施設が機能を十分に発揮することにより、安定した安全保障の基盤確保へ繋がるということに、仕事のやりがいを感じています。また、防衛省の職員でなければ携わる機会のない特殊な施設（戦闘機の格納施設等）を担当することが出来るという点も、この仕事の魅力だと思っています。

北関東防衛局　事業監理課　係員

◆これまでの勤務で印象に残ったエピソード

若手の土木職員を対象に行われた燃料タンクの講習会に参加した際、施工中の現場を直接見学しました。現場では打設したコンクリートに穴や割れがあるかを確認する浸透探傷（しんとうたんしょう）試験や真空試験など品質管理としての検査を体験し、燃料タンクでは防衛省独自の工夫があり、土木の知識だけでなく、防衛技官としての考え方も学ぶことができ、大変いい経験になりました。

◆学生へのメッセージ

地方防衛局では、火薬庫、燃料タンク、射撃場など防衛省職員でなければ経験できないような施設の建設に携わることができ、知識の幅が広がるのでとてもやりがいがあります。こういった他では得難い仕事をしたい方、防衛省に少しでも興味のある方はぜひ志望先の一つとして検討してみてください。

社会人になってから楽しいこともたくさんありますが、学生の時じゃないとできないこともたくさんあるので、今を目一杯楽しんでください。

宮本　悠太 MIYAMOTO YUTA

一般職（高卒）／土木
入省2年目

建築課

建築課では、各種建築工事における調査、設計、積算、工事監督業務などを行っております。建築工事では、庁舎、隊舎、病院、整備場、管制塔、格納庫、体育館、食堂、公務員宿舎など多岐にわたる施設を整備しています。

北関東防衛局　建築課　係長

徳井　暁子　TOKUI AKIKO
一般職（大卒）／建築
入省10年目

◆一番印象に残った防衛施設について

入省2年目に監督業務を行った自衛隊車両用車庫です。初めて設計から工事完成までを担当した施設で、部隊との調整、設計時の行政手続き、工事進捗管理や工事受注者との協議など、一連の業務を経験しました。工事完成後、部隊へ引渡した時の達成感は忘れられません。その後も格納庫や病院等様々な施設に携わっていますが、この車庫での経験が、私の仕事の基盤となっています。こうした設計から工事完成までの全ての業務を担当できるのは地方防衛局の大きな魅力の一つだと思います。

◆仕事で普段心掛けていること

設計や工事中に問題が発生して悩むこともたくさんありますが、施設が完成する姿を想像することや、関係者とのコミュニケーション、問題解決を円滑に進められた時の達成感など、楽しさを見つけて業務に取り組むことを心掛けています。そして、給料日後に大好きなチョコレートを買いに行くことを毎月の楽しみに、毎日楽しく仕事に臨んでいます。

中国四国防衛局　建築課　係員

◆これまでの勤務で印象に残ったエピソード

米軍岩国飛行場の提供施設整備において、塗装／サンドブラスト工場の監督業務を行いました。初めての提供施設の監督業務ということで、設計図面、打ち合わせの資料等も英語表記が必須で不安もありましたが、先輩や同僚のサポートもあり、円滑に業務を行えました。建物が完成すると、今まで以上の達成感を味わうことが出来ました。

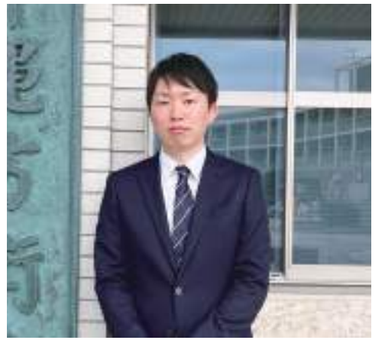
◆学生へのメッセージ

技術系の専門職で就職先を探す際、例えば、建築だと調査会社や設計会社、建設会社等、それぞれの工程に特化した就職先が多いと思いますが、地方防衛局は設計から工事まで、幅広い業務を経験することが出来ます。また、具体的な仕事内容としても、CADソフトを使用し図面を描いたり、工事中であれば施工業者と工事内容について調整したりと様々な業務があるため、いろいろなことを経験してみたい方には、ぴったりな職場だと思います。

中山　幸　NAKAYAMA MIYUKI
一般職（高卒）／建築
入省3年目

土木課

土木課では、各種土木工事における調査、設計、積算、工事監督業務などを行っております。土木工事では、滑走路、駐機場、岸壁、桟橋、道路、大規模燃料タンク、上下水道施設など多岐にわたる施設を整備しています。



沖縄防衛局　土木課　係長

内堀　裕也　UCHIBORI YUYA
Ⅱ種／土木
入省10年目

◆これまでの勤務で印象に残ったエピソード

初めて工事監督をした米軍岩国飛行場における駐機場工事が印象に残っています。初めてということもあり分からない事だらけでしたが、先輩職員や受注者の方々から事あるごとに助言を受け、何とか完成に漕ぎつけました。苦労が大きかった分、実際に駐機場が使用されている様子を見た際は、非常に感動したのを今でも覚えています。

◆仕事のやりがいについて

工事の実施にあたっては、国内法令を守ることはもちろんのこと、米軍等から、より厳しい基準を求められることもあります。加えて、部隊や米軍といったユーザーや関係自治体からの要望も可能な限り叶えなければなりませんが、予算、工期、環境等の要因に対して様々な視点から丁寧に検討を進めていく必要があります。このように様々な制約がある中で、調整先は多岐にわたるため、頭を悩ませることも多々あるのですが、無事工期内に施設を完成させた際にやりがいを感じます。

近畿中部防衛局　土木課　係員

◆これまでの勤務で印象に残ったエピソード

土木課に配属されて初めて発注から担当した宿舎の改修工事が完成した事です。

当時は初めての発注だったこともあり、工事が進むにつれて続々と問題が出てきてしまって苦労したのでよく覚えています。諸先輩方や受注者の方々にたくさん教えてもらいながらなんとか工事が終わり完了した現場を見た時はとても感動しました。

◆学生へのメッセージ

防衛省特有の工事はもちろんですが、一般的な土木工事も自衛隊施設内の整備という特殊な条件下で行うことができるのは本職の最大の魅力だと思います。自衛隊に興味がある人はぜひ！！

濱村　佳奈　HAMAMURA KANA
一般職（高卒）／土木
入省5年目

設備課

設備課では、各種設備工事における調査、設計、積算、工事監督業務などを行っております。設備工事では、受変電設備、給排水設備、航空灯火設備、監視制御設備、衛生・空調設備、情報通信設備、レーダー施設など多岐にわたる施設や設備を整備しています。

吉田　智充　YOSHIDA TOSHIMITSU
Ⅲ種／電気
入省23年目

北海道防衛局　設備課　建設監督官

◆これまでの業務で印象に残ったエピソード

東日本大震災の1年後に東北局に勤務した際、震災からまだ完全に復興していない東北地方の自衛隊内には今にも崩れそうな施設が多く残っており、それらの復旧工事を経験したことが印象に残っています。特に、松島基地においては水没した施設の早急な復旧が求められていました。緊急的な復旧工事は既に完了していたのですが、まだ復旧が必要な施設が多く残っていました。復旧工事をするにあたっては、ただ施設を元通りに復元するだけではなく、また津波等で浸水しても運用可能な施設とするための対策を施さなければならないため色々と苦労した記憶があります。ただ、この時経験した事の多くが、今でも自分の仕事に生かされています。

◆仕事のやりがいについて

自衛隊のニーズを元に自分が携わって作成した設計図面が、工事として発注されて形になっていく過程を自ら工事監督官として担当し、施設が完成したときには何ともいえない達成感を得ることが出来ます。更には要求元である自衛隊の使用部隊からは、ニーズを的確に反映した施設とすることにより、感謝の言葉をもらえることがあり、それが自分の仕事のやりがいとなっています。私達の仕事は自分のためにではなく、自衛隊のために。それが国を守ることに繋がっていくのだと感じています。

近畿中部防衛局　設備課　係員

◆これまでの業務で印象に残ったエピソード

高さ70ｍほどの鉄塔新設工事の電気監督官を務めたことがあるのですが、現場を訪れる度に着々と伸びていく鉄塔がとても印象的でした。電気設備の工事内容としては鉄塔頂部付近の避雷針等があるのですが、完成検査の際に転落防止の安全帯を着けて登り、足を震わせながら現場確認した経験は特に印象に残っています。

◆学生へのメッセージ

地方防衛局で防衛技官として採用されると、防衛省ならではの飛行場・港湾施設・弾薬庫等、この仕事をしていないと携わることのできない特殊な施設建設の知識と経験を得ることができます。

「学生時代に培った専門知識を生かして様々な事業に携わりたい」「日本の安全保障環境の基盤となる自衛隊施設建設に貢献したい」と思っている皆様と一緒に働けることを楽しみにしています！

窪口　航太　SAKOGUCHI KOTA
一般職（高卒）／電気
入省6年目

職員の1日

東北防衛局 建築課 係員
福島 拓朗　FUKUSHIMA TAKURO
一般職（大卒）／建築
入省3年目

私は建築課に所属しており、防衛施設の新設・改修・解体の工事監督業務を担当しています。定期的に現場へ赴き、工事が円滑に進行できるよう監理技術者や部隊との調整を行っています。「日々勉強」の毎日で、楽しく働いています。

登庁　8:30

慌ただしく始業を迎えることがないように１０分前には出勤するよう心がけています。身の回りの掃除や書類の整理を行い清々しい気持ちで業務に取りかかれるよう整理整頓を日々の目標にしています。

午前中の仕事　8:30 ▼ 12:00

現場と電話で連絡をとり、工事の進捗、今後の工程について打ち合わせを行います。昨今の社会情勢を鑑み極力ペーパーレスに努め、紙面の郵送によるやりとりを減らしています。現場からの問いかけに対して速やかに反応出来るよう心がけています。

昼休み　12:00 ▼ 13:00

課内の雰囲気は非常に明るく何でも話せる職場環境だと思っています。同僚と昼食を取りながら趣味の話や今興味のあることなど他愛もない会話をしながら過ごしています。昼食後は職場近くの公園で散歩することが多く、春に咲く桜が楽しみの一つです。

午後の仕事　13:00 ▼ 15:00

現場で定例会議に出席、または一定工種の完了検査をします。正しく図面通りに工事が進んでいるか。進めるために問題が生じていないか。「頭を柔らかく、視野を広げて」を心掛けながら現場を監督します。わからないことは正直に「わからない」と伝え、時には業者の方からも教わりながら、業務を進めていきます。

夕方の仕事　16:00

職場に戻り、現場での業務について上司へ報告します。１人で問題を抱えたままにならないよう、情報の共有は欠かさないようにしています。他部署との調整事項があればその旨を各監督官へ周知し、時には調整会議を開催し問題の早期解決に努めます。

退庁　17:40

退庁後　18:00

昨年、子どもが産まれたばかりなので極力時間外勤務にならないよう仕事にメリハリをつけ、早めに帰宅し子どもをお風呂に入れたり一緒にご飯を食べたり家族との時間を大切にしています。運動が趣味のため時にはジムに行き汗を流しています。

◆イレギュラー勤務

強い台風や大きな地震の際には工事現場の被害状況のほか、部隊運用や第三者へ被害が及んでいないか状況を把握するため出勤することがあります。被害がある場合は復旧までの工程を確認し迅速に局内へ報告します。その他、規模の大きな工事の検査時には連泊で受検します。

キャリアパス

南関東防衛局
設備課
係員

川上　樹
KAWAKAMI TATSUKI

一般職（大卒）／機械
入省4年目

大学で学んだことを活かして、「国や国民を守ること」に関わりたいと考え、入省しました。4年目の中堅係員として、部隊や工事受注者との調整を一人で行う機会が増えましたが、これまでの経験や上司等の教えを基に、工事監督官として関係者との調整が出来つつあると自負しています。自身の判断が工事の進捗、ひいては完成後の施設を使用する部隊の計画にも影響することに責任の重さを感じ、業務に取り組んでいます。

九州防衛局
土木課
課長補佐

井上　俊之
INOUE TOSHIYUKI

Ⅲ種／土木
入省21年目

地方防衛局では、自衛隊や在日米軍が使用する飛行場、港湾施設及び燃料タンクなどの防衛施設の建設（調査、設計、工事監督、建設企業や自衛隊・在日米軍との調整）に携わっています。私自身、本省や地方防衛局勤務を経験し、日々責任感を持って業務に取り組んでおり、休日は家族と観光地巡りを楽しんでいます。現在、課長補佐として、これまでに経験したことを活かしながら、課員のスキルアップに繋がるような指導に心掛けています。

採用 → 係員 → 係長 → 課長補佐 → 管理職

中国四国防衛局
調達計画課
係長

遠藤　香織
ENDO KAORI

Ⅱ種／土木
入省10年目

防衛省自衛隊の活動を知る度に、自分も国防を支える組織の一翼を担う存在になりたいと思い入省しました。現在、私は飛行場施設などの自衛隊施設の整備に関する計画調整等を行う調達計画課に所属しています。自衛隊施設の整備には、施設整備と使用する隊員のニーズを如何に反映した施設をつくりあげることが強く求められます。私は課の係長として、時には基地等の現場に赴くことで、実際に使う隊員の生の声を積極的に取り組むよう心掛けています。

東北防衛局
調達計画課
課長

三浦　仁志
MIURA HITOSHI

初級／土木
入省38年目

地方防衛局の調達部は、自衛隊及び駐留軍の庁舎、飛行場、港湾などの施設を整備し、わが国の防衛力と日米安保体制を支える重要な基盤を整備する役割となっています。

その中で課長は、施設整備を円滑に進めるため、課内をとりまとめるとともに職場の環境を整え、部下の指導と教育を行う役目となっており、部下の能力を最大限に引き出せるようなマネジメントを、日々心掛けています。

研修制度

防衛施設補佐研修
防衛施設専門官研修
防衛施設係長研修
防衛施設初任係長・主任研修
防衛施設中級係員研修
防衛施設初級係員研修
防衛施設初任者研修

並行して
各局業務の中で
OJT（※）実施

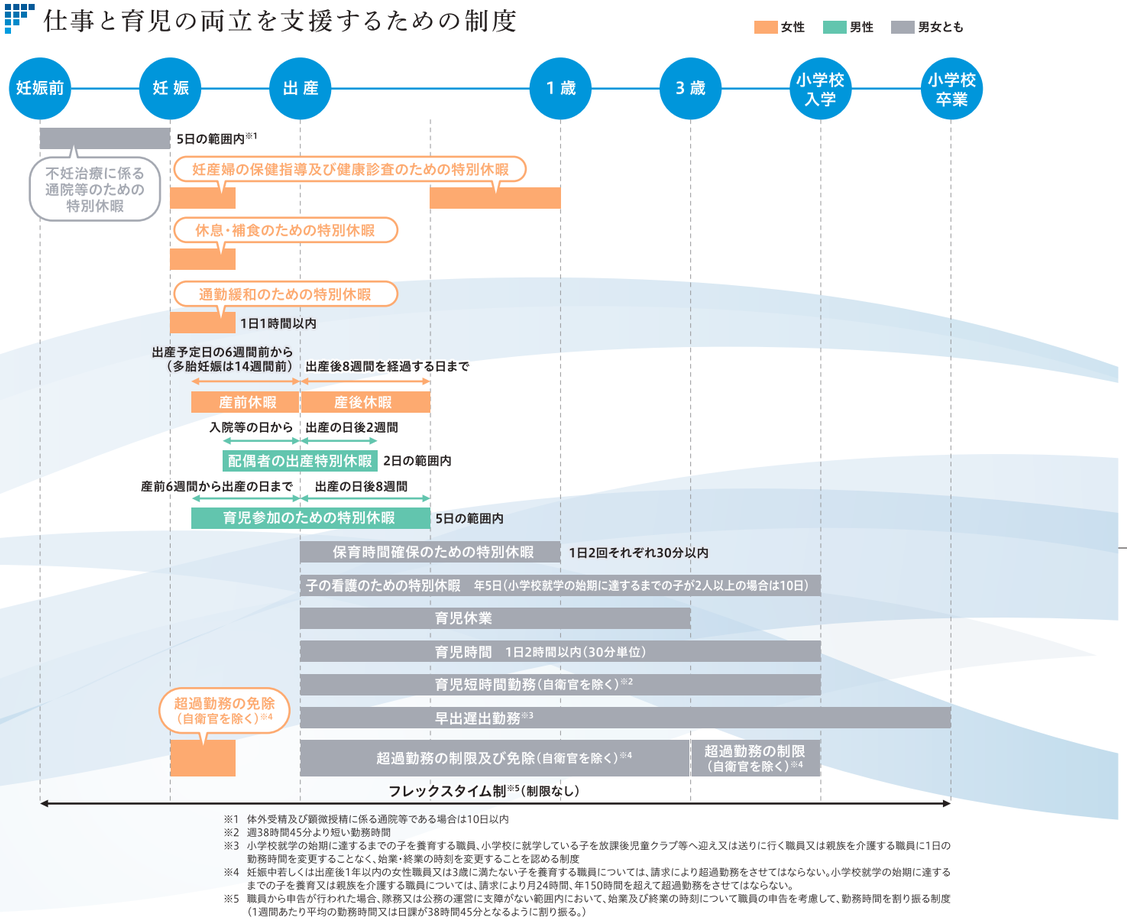
防衛施設を整備するにあたり、技官には幅広い知識が求められるので、それらの知識を必要なタイミングで集合研修を実施しています。施設整備に関する知識がゼロでも入省後に研修や業務を通じて知識を習得していくことができます。

（※）OJT：On the Job Training の略。日常的な業務を通じて、必要な知識、技能や思考方法などを意識的、計画的、継続的に高めていく取組みのこと。

ワークライフバランス

男性も女性もともに働きやすい職場となるように、働き方の見直しや、在宅勤務などの育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組み、職員の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進しています。

仕事と育児の両立を支援するための制度



※1　体外受精及び顕微授精に係る通院等である場合は10日以内
※2　週38時間45分より短い勤務時間
※3　小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員、小学校に就学している子を放課後児童クラブ等へ迎え又は送りに行く職員又は親族を介護する職員に1日の勤務時間を変更することなく、始業・終業の時刻を変更することを認める制度
※4　妊娠中若しくは出産後1年以内の女性職員又は3歳に満たない子を養育する職員については、請求により超過勤務をさせてはならない。小学校就学の始期に達するまでの子を養育又は親族を介護する職員については、請求により月24時間、年150時間を超えて超過勤務をさせてはならない。
※5　職員から申告が行われた場合、隊務又は公務の運営に支障がない範囲内において、始業及び終業の時刻について職員の申告を考慮して、勤務時間を割り振る制度（1週間あたり平均の勤務時間又は日課が38時間45分となるように割り振る。）

南関東防衛局　建築課　係長

安永　あや
YASUNAGA AYA

Ⅱ種／建築
入省15年目

◆仕事と家庭生活の両立について

各両立支援制度を積極的に取り入れることで、通勤時間などを有効活用でき、子供を保育園に預けてしまうだけの生活ではなく、積極的な子育てへの参加が可能なため、子供の成長を間近で感じることが出来ています。

◆地方防衛局を目指す女性へのメッセージ

各ライフステージにおいて、柔軟な働き方が可能な職場だと感じています。また、防衛省でしか経験できないような施設に携われることが何よりの財産になりますし、一方で、家族との時間も大切に出来る職場です。

活用した支援制度　「通勤緩和のための特別休暇」、「産前・産後休暇」、「保育時間確保のための特別休暇」、「フレックスタイム制度」、「テレワーク」

処 遇

給与

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。
下の表は、新規卒業者で埼玉県さいたま市に勤務した場合の一例です。

一般職（大卒程度）	行政職俸給表（一）1級25号俸の場合	209,530円
一般職（高卒者）	行政職俸給表（一）1級5号俸の場合	173,190円
一般職（社会人（係員級））	行政職俸給表（一）1級	190,785～253,690円

手当

●扶養手当：扶養親族のある者に、配偶者月額6,500円ほか　●住居手当：借家居住者等に、月額最高28,000円
●通勤手当：交通機関等利用者に、1ヶ月最高55,000円　●その他：超過勤務手当等
●期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）：1年間に俸給などの4.45ヶ月分

勤務時間

勤務時間は1日7時間45分、原則として土、日曜日及び祝日等は休みで週休2日制を実施しています。

参 考 採用予定者数（2021年度）

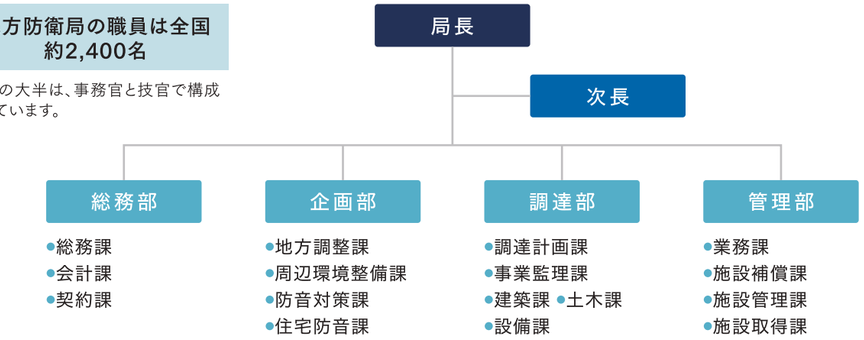
採用予定地域	大卒程度						高卒者	社会人
	デジタル・電気・電子	機械	土木	建築	計		技術	技術
北海道	※	※	※	※	4	※印の区分から4名採用予定	4	
東北	※	※	※	※	9	※印の区分から9名採用予定	4	
関東甲信越	※	※	※	※	16	※印の区分から16名採用予定	7	
東海北陸	※	※	※	※	4	※印の区分から4名採用予定	2	
近畿	※	※	※	※	8	※印の区分から8名採用予定	4	3
中国	※	※	※	※	4	※印の区分から4名採用予定	4	
九州	※	※	※	※	10	※印の区分から10名採用予定	10	
沖縄	※	※	※	※	8	※印の区分から8名採用予定	7	3
計					63		42	6

地方防衛局のその他の業務

組織

地方防衛局の職員は全国約2,400名

組織の大半は、事務官と技官で構成されています。



※各地方防衛局によって組織は若干異なります。

総務部は総務課、会計課、契約課などから構成されており、局内の総合的な調整、職員の採用や給与などの人事管理、福利厚生、広報、情報公開、会計、物品管理、入札及び契約に関する業務等を行っています。
職員の給与の算定や各種制度の利用申請等窓口のほか、防衛施設を整備していく上で欠かせない入札や契約業務などを担っており、各課の業務が円滑に進むように局全体をバックアップしています。

企画部は地方調整課、周辺環境整備課、防音対策課、住宅防音課などから構成されており、地方協力確保事務、障害防止事業、防音事業、移転措置事業、民生安定事業に関する業務およびそれらに関する自衛隊や在日米軍、地方公共団体等との連絡調整業務等を行っています。
これらの業務は、自衛隊、在日米軍の活動や防衛施設を設置・運用することによって周辺地域の生活環境等に与える影響を防止・軽減することなどを目的としています。

管理部は業務課、施設補償課、施設管理課、施設取得課などから構成されており、防衛施設として使用するための土地等の取得や借上げ、取得した土地等の管理、国有財産の管理、緑化対策事業、米軍の事件・事故が発生した場合の事故補償、自衛隊や在日米軍の訓練に伴う漁業補償等に関する業務等を行っています。
整備した防衛施設は国有財産となるため、各基地等にある防衛施設の面積等情報を集積した国有財産台帳に記録して管理しています。